

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



三橋小学校教育目標

- 「よく学び なかよく遊ぶ 心も体もたくましい 三橋の子」
- よく考える子（知）
 - 心の豊かな子（徳）
 - たくましい子（体）
 - かかわりを大切にする子（コミュニケーション）



■所在地：さいたま市大宮区三橋2-20 ■電話：048-641-0792
 ■FAX：048-644-7322 ■交通：JR大宮駅西武バスより乗車「中並木」「並木中」で下車

01 地産地消を生かした食育の取組



パクパクだより

10月1日（木曜日）

【今日の献立】

- ・さつまいもご飯
- ・牛乳
- ・れんこんメンチカツ
- ・月見団子汁
- ・お月見ゼリー

献立説明

「十五夜」について説明します。今日は十五夜です。毎年十五夜の日は月がとてもきれいなので、お月見をする風習があります。花びんにええ手をさし、お団子をお供えするのですが、これは「秋にたくさんのお作物がとれますように」という願いをこめる意味があります。また、十五夜は別名「芋名月」とも言われ、芋芋やさつまいもなどの収穫をお祝いする行事でもあります。今日の給食にも十五夜らしく、お団子やさつまいもを入れてみました。今夜は天気が晴れたら、お家の入とお月見をしてみてくださいね。

(1) 「パクパクだより」の活用

本校では給食の時間に栄養士が作成した献立の説明「パクパクだより」を児童や担任が読み上げ、「食」に対する興味・関心をもたせるようにしている。生産者や調理員さんへの感謝の気持ちをもつとともに、栄養バランスを考えて食事する大切さを理解できるようにしている。その結果、残菜を減らす意識が高まってきている。

(2) 総合的な学習の時間の活用

5年生では総合的な学習の時間で「埼玉名物を作ろう」を題材として学習を行っている。まず、埼玉県の特産物を調べ、自分たちの住む地域についての関心を高めさせる。次に埼玉の特産物を使用した給食献立を考え、家庭で保護者と一緒につかってみる。その中から栄養士と相談し、いくつか実際に給食のメニューとして取り入れている。例年子どもたちに好評で、その日は普段より残菜が少なくなっている。

02 真の学力を身に付け 未来を切り拓く児童の育成



(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

全職員で『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実』をテーマに学校課題研究に取り組んでいる。ICTを活用し、児童が自ら課題達成に向けた学習方法を選ぶなどして、自己の学習を客観的にとらえ、自己調整しながら学習に取り組むことができるようにしていく。

(2) STEAMS教育の推進

理数的な課題解決的な学習を行い、児童の「課題解決能力」の向上に取り組んでいる。児童が社会的な課題を捉え、自分たちにできる解決方法を考え、それらを共有して妥当性について議論し、行動することで、「未来に生きる真の学力」の育成を図っている。